

平成28年度 当初予算・組織の概要

平成28年2月17日

基本理念

「選ばれるまち ふじえだ」づくり

第5次藤枝市総合計画

「ふじえだ2020グランドデザイン スマイルプラン」

元気共奏・飛躍ふじえだ

～元気つながる、笑顔ひろがる。～

ふじえだ健康都市創生総合戦略

(藤枝市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

～「都市の健康」で未来を拓く～

平成28年度 重点方針

- ◆市長マニフェストの発展的な取り組み
- ◆5年後の成果を見据えた第5次総合計画後期計画の着実なスタート
- ◆「ひと・しごと」を藤枝に呼び込む戦略的な施策の展開
- ◆健全な財政運営、人財育成など、自立した基礎自治体づくり

平成28年度重点戦略

I コンパクト^{プラス}＋ネットワークで 創る健康都市

- ◆拠点集約型都市拠点の形成
- ◆都市空間創造、都市基盤整備
- ◆都市拠点をつなげるネットワークづくり
- ◆環境日本一への取組
- ◆安全安心な地域づくり
- ◆交通安全日本一への取組

II 産業としごとを創る健康都市

- ◆産業振興と雇用創出
- ◆起業・創業支援
- ◆新公共経営に基づく市役所の質の向上
- ◆多様な人材の活用

III ひとの流れを創る健康都市

- ◆シティ・プロモーションの推進
- ◆広域観光・交流・連携
- ◆藤枝の宝を磨き、伸ばす取組
- ◆協働・共創の促進
- ◆高齢者支援・福祉の充実

IV 出会いとこどもの未来を創る 健康都市

- ◆少子化対策・子育て支援の充実
- ◆教育日本一に向けた取組
- ◆健康・予防日本一に向けた取組
- ◆安定的な医療の提供
- ◆スポーツ・文化の推進

健康都市…市民一人ひとりが安全・安心に健やかに暮らせ、産業とまちが健全に発展し、社会貢献活動が活発で地域全体で支え合う“都市”と“人”が元気なまち

1. 当初予算・組織の概要



平成28年度予算の特徴

★1 過去最大の積極型予算を編成！

(476億8,000万円 (4)幸せに(7)(6)なろう(8)や)

★2 市債残高大幅縮減！H20比約240億の減！

(市債残高	H20	1,033億円⇒H28	796億円)
(実質的市民一人当たり残高	H20	608,000円⇒H28	385,000円)

★3 基金残高大幅増額！H20比約32億の増！

(財政調整基金残高	H20	32.3億円⇒H28	64.6億円)
(市民一人当たり残高	H20	22,000円⇒H28	44,000円)



(1) 予算の規模

全会計でも過去最大！

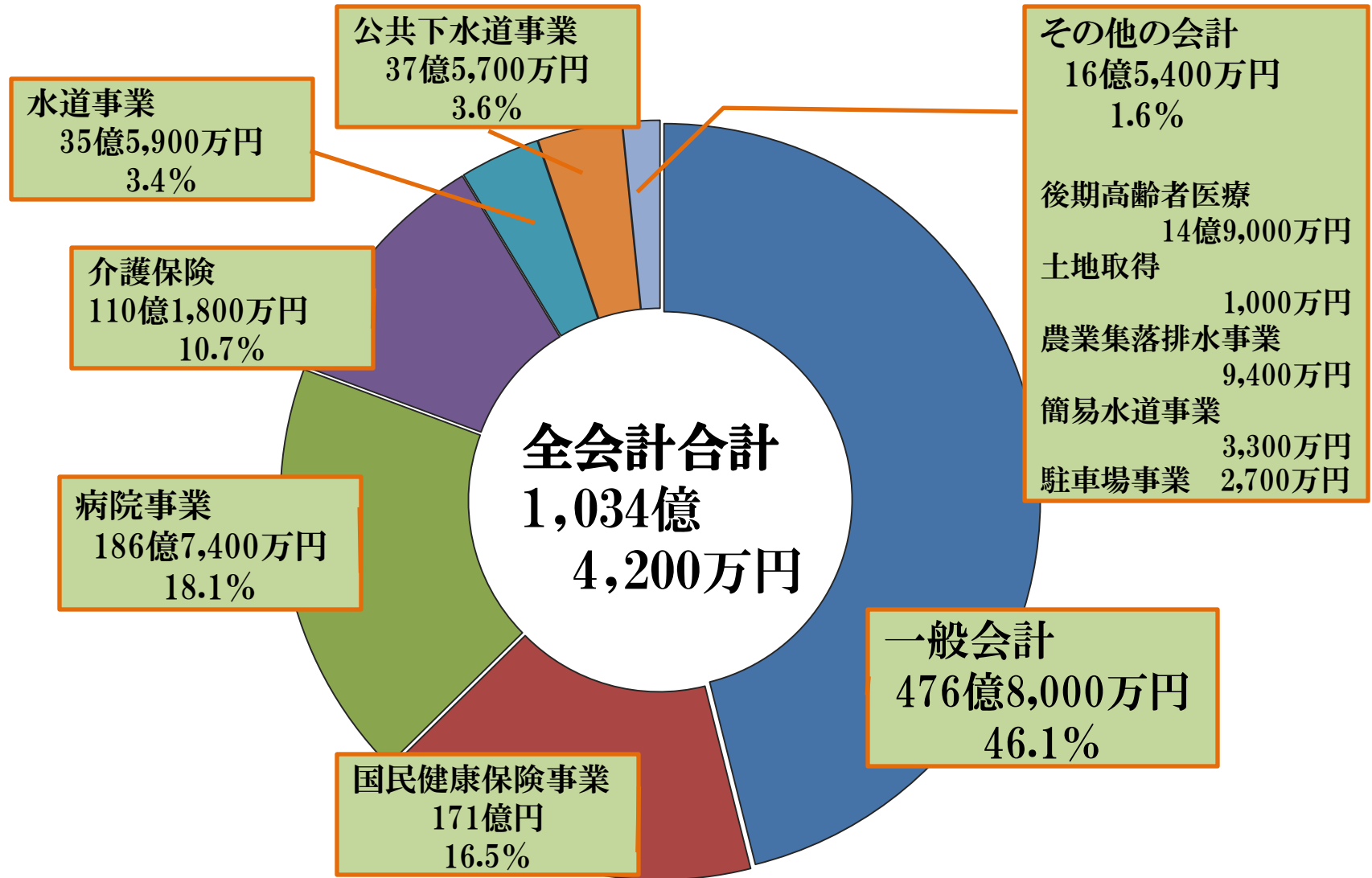
○全 会 計

(単位：百万円)

区 分	H28当初	H27当初	増 減	伸 率
一般会計	47,680	46,780	＋ 900	＋ 1.9%
特別会計	33,529	32,683	＋ 846	＋ 2.6%
企業会計	22,233	20,658	＋ 1,575	＋ 7.6%
合 計	103,442	100,121	＋ 3,321	＋ 3.3%

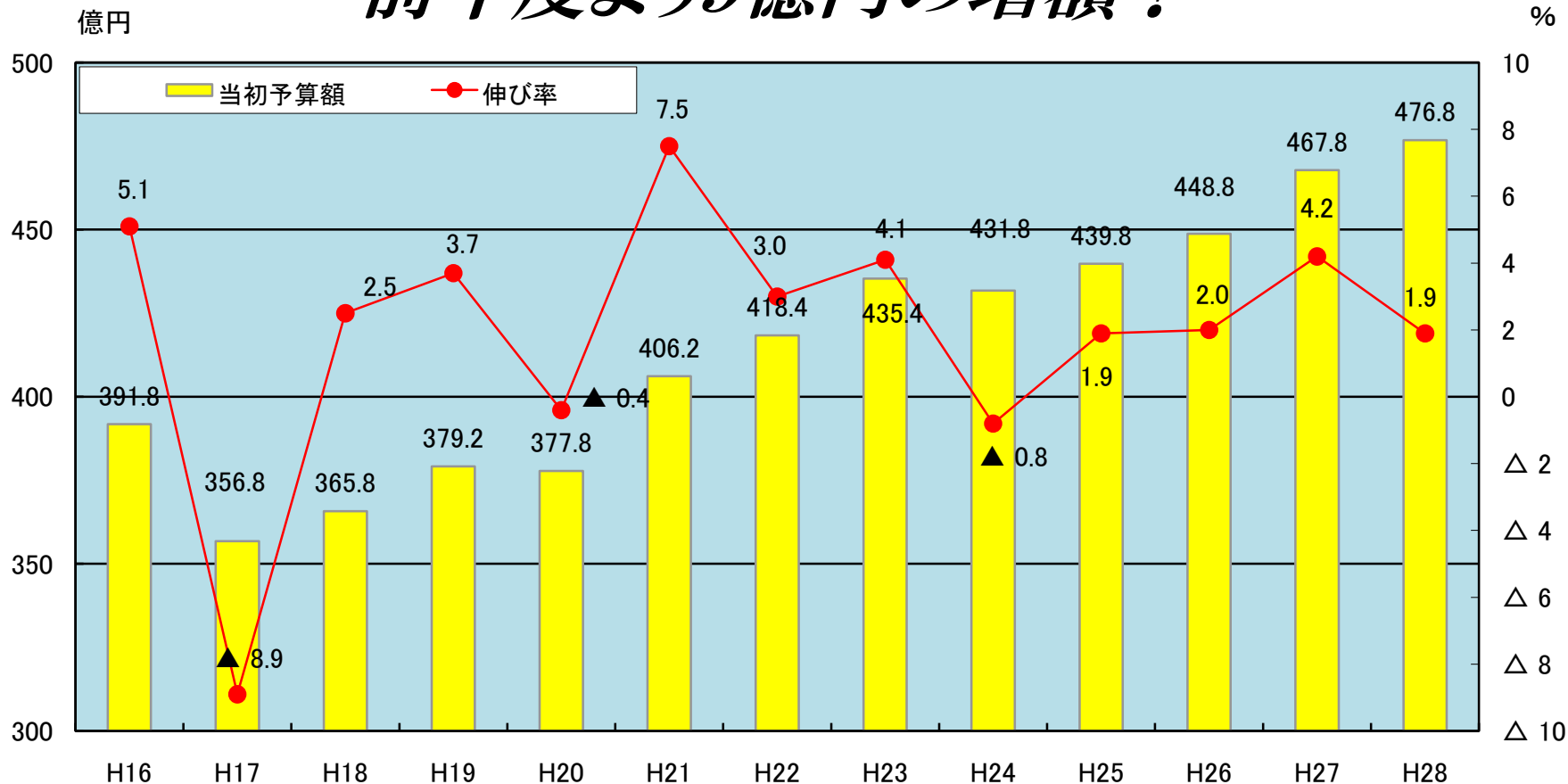


平成28年度 会計別予算構成

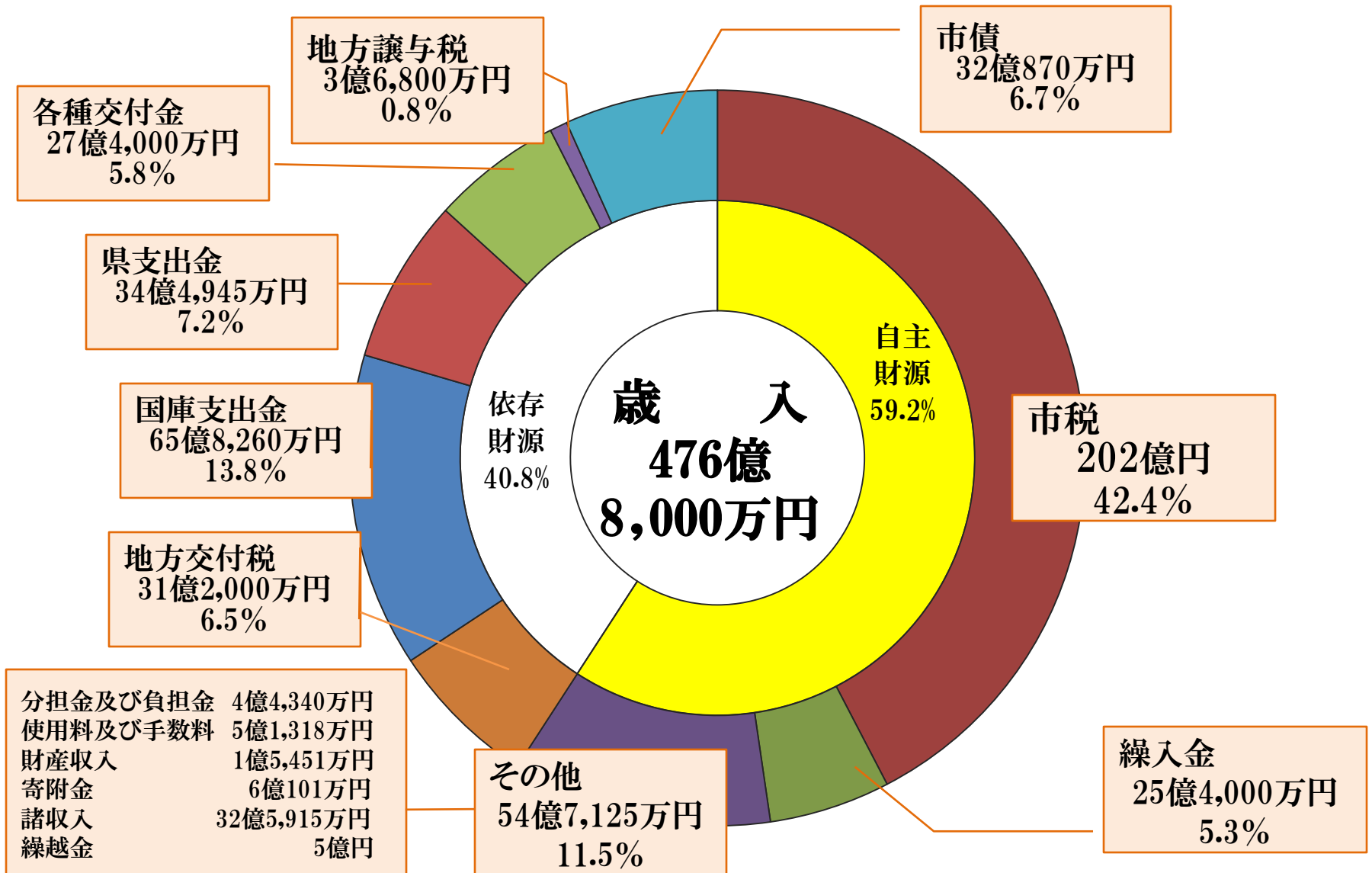


(2) 一般会計予算額の推移

市民の幸せと豊かさの実現に向けた積極型予算
前年度より9億円の増額！



(3) 平成28年度 一般会計歳入予算内訳



主な歳入予算の増減要因

※ 増減は対前年度当初予算比較

市 税	202億円	+ 2億円	+ 1.0%
	家屋の新築、増築の増加に伴う固定資産税の増		
地方交付税	31億2,000万円	▲ 1,000万円	▲ 0.3%
	国の地方財政計画（通常収支分▲0.3%）相当分の減		
利子割交付金等 各種交付金	27億4,000万円	+ 2億2,800万円	+ 9.1%
	国の地方財政計画に基づく増（うち地方消費税交付金 +1億4,300万円）		
国庫支出金	65億8,260万円	+ 6億8,713万円	+ 11.7%
	社会資本整備総合交付金の増、民生費負担金の増		
県支出金	34億4,945万円	+ 4億9,673万円	+ 16.8%
	農林水産業費補助金の増、民生費負担金の増		
繰 入 金	25億4,000万円	▲ 11億8,236万円	▲ 31.8%
	財政調整基金、土地開発基金、職員退職手当基金からの繰入の減		
市 債	32億870万円	+ 1億7,880万円	+ 5.9%
	地方道路等整備事業債の増、消防防災施設整備事業債の増 国の地方財政計画(通常収支分)に基づく減(臨時財政対策債▲16.3%)		
その他 ※	58億3,925万円	+ 3億170万円	+ 5.4%
	ふるさと応援寄附金の増、太陽光発電設備導入補助金の減		

※その他は、円グラフの「その他」と「地方譲与税」を合計した数字です



(4) 市税の推移

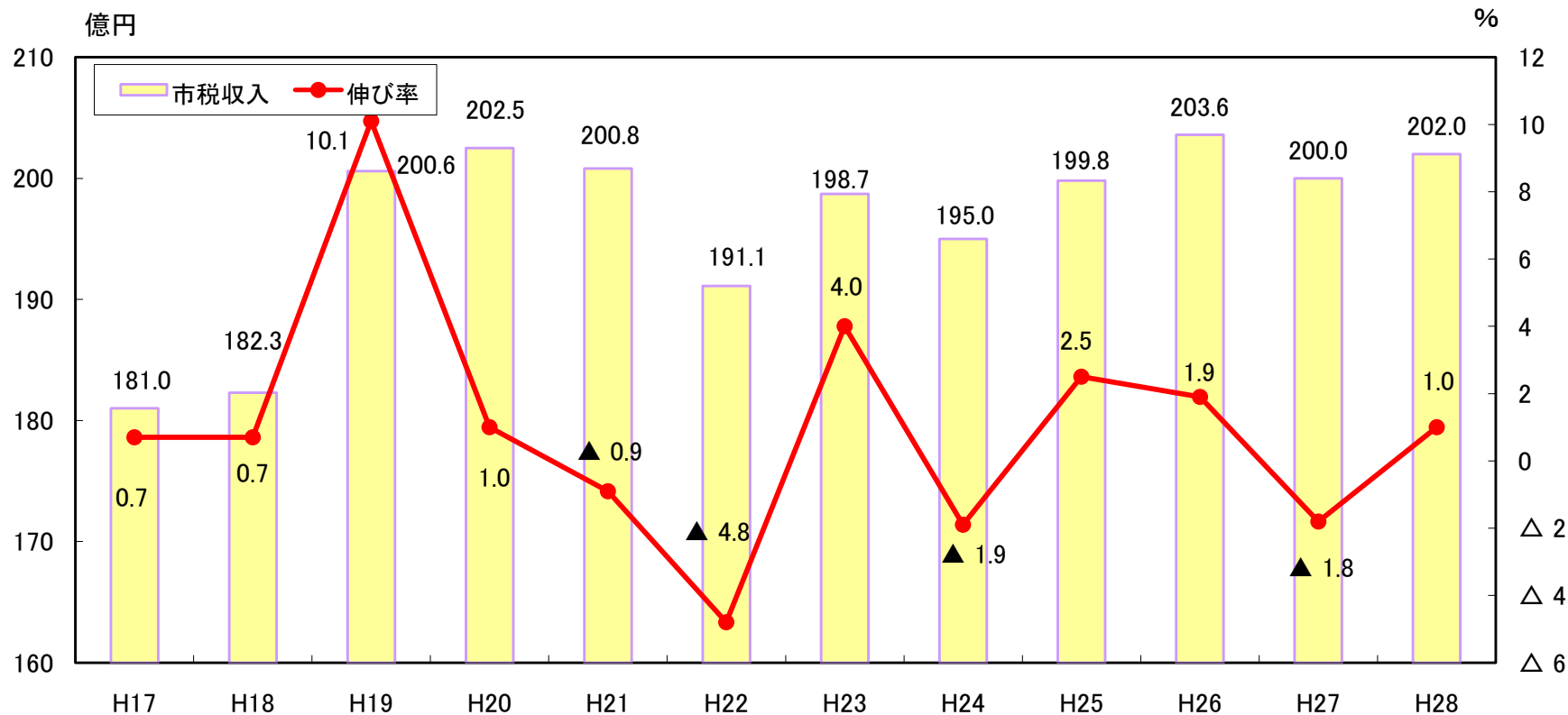
※ 増減は対前年度当初予算比較

市税合計

202億円

+ 2億円

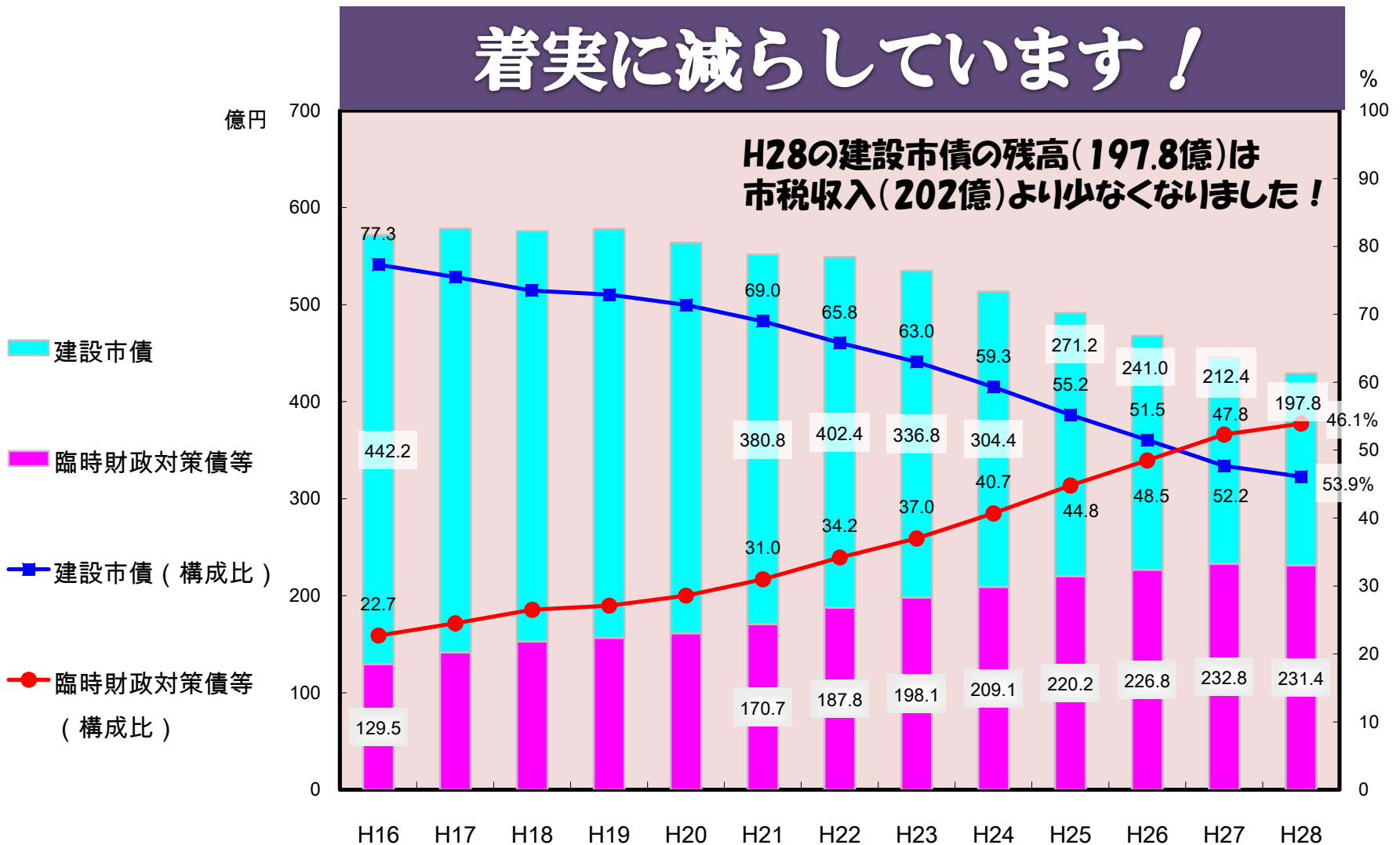
+ 1.0%



※ H20以前は岡部町との合算



(5) 一般会計市債残高の推移



臨時財政対策債＝国が償還金を全額負担（＝実質的な地方交付税）



各会計別の市債残高の推移

経費節減に努め、新規借入を抑制

⇒全会計合計で **約240億円削減** の見込（平成20年度比）

単位：億円

	20年度末 (決算)	21年度末 (決算)	22年度末 (決算)	23年度末 (決算)	24年度末 (決算)	25年度末 (決算)	26年度末 (決算)	27年度末 (見込)	28年度末 (見込)
一般会計	563.8	551.5	549.1	534.9	513.5	491.4	467.9	445.2	429.2
特別会計	228.6	228.7	225.3	221.6	217.2	212.1	208.3	202.8	198.5
企業会計	241.1	232.2	221.5	208.8	198.0	189.1	190.3	180.6	167.8
合計	1,033.5	1,012.4	995.9	965.3	928.7	892.6	866.5	828.6	795.5

※繰越事業に係る市債を含む

1,000億円超あった市債残高が 800億円を切りました！



「都市の健康」で未来を拓く

(6) 財政調整基金の残高

(単位:億円)

	H20 年度末 (決算)	H21 年度末 (決算)	H22 年度末 (決算)	H23 年度末 (決算)	H24 年度末 (決算)	H25 年度末 (決算)	H26 年度末 (決算)	H27 年度末 (見込)	H28 年度末 (見込)
財政 調整 基金	<u>32.3</u>	31.8	31.7	49.2	52.8	68.3	79.7	<u>83.6</u>	<u>64.6</u> 以上

財政調整基金は、市が特定の目的で行う貯金ではなく、景気変動による市税等の減収や不測の事態への備えとしての貯金

平成20年度末から **50億円以上** を積立 (見込)

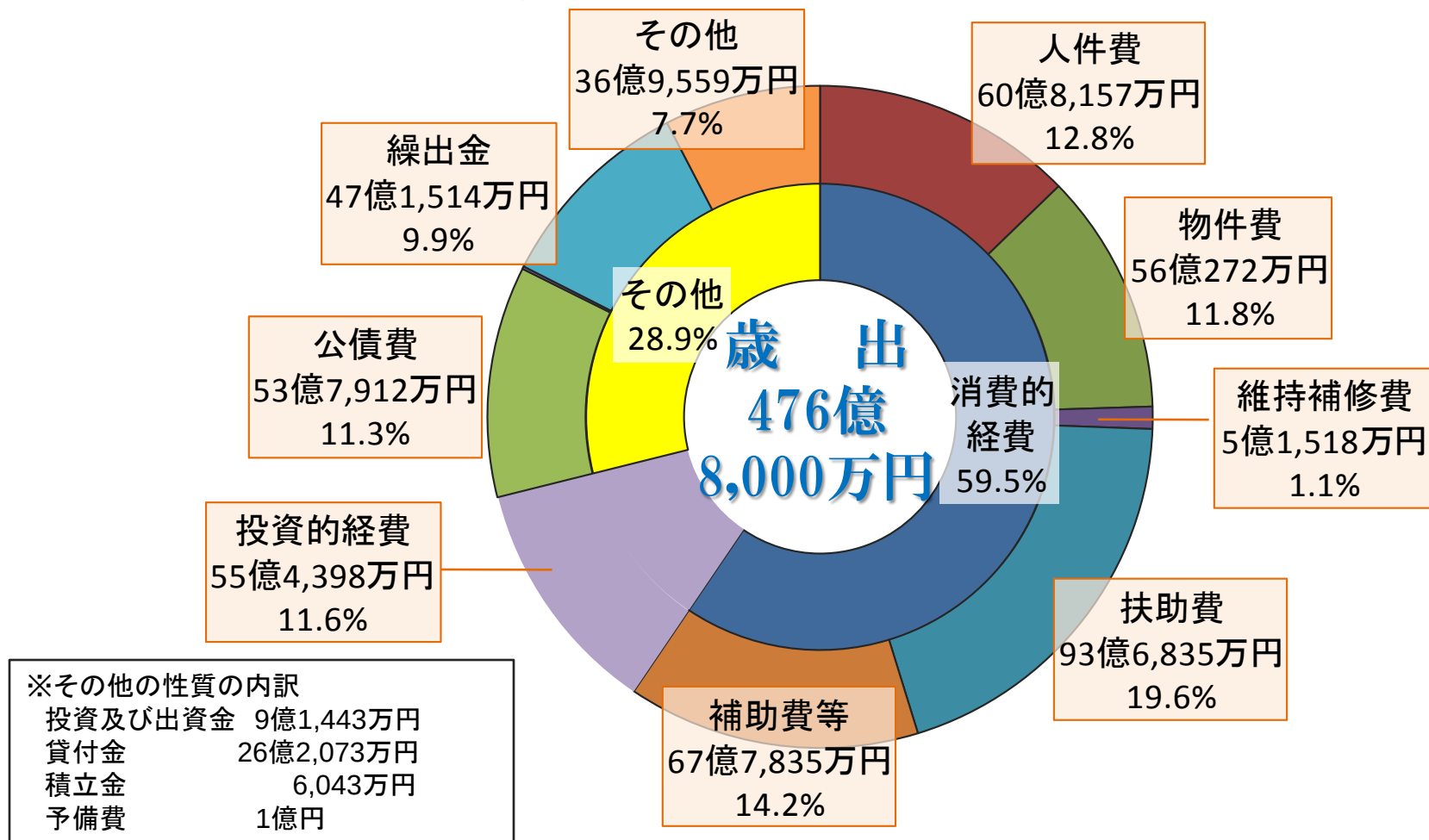
- ・ 緊急的な支出や収入の減少に対応
- ・ 将来の大規模プロジェクトに対応



(7) 平成28年度 一般会計歳出予算の状況

◆性質別歳出予算

※その他の内訳は下記に記載



主な歳出予算の増減要因

※ 増減は対前年度当初予算比較

人件費	60億8,157万円	▲ 2億8,603万円	▲ 4.5%
	定年退職者の減少による減		
物件費	56億272万円	+ 1,050万円	+ 0.2%
	市営住宅借上料の増 など		
扶助費	93億6,835万円	+ 6億1,925万円	+ 7.1%
	施設型給付費、地域型保育給付費の増		
補助費等	67億7,835万円	+ 3億8,067万円	+ 6.0%
	強い農業づくり事業費の増、ふるさと納税促進経費の増		
投資的経費	55億4,398万円	▲ 1億4,526万円	▲ 2.6%
	駅前一丁目8街区再開発事業に伴う増、道水路工事の増 藤枝地区公民館建設工事、葉梨小学校増築工事の完了による減		
繰出金	47億1,514万円	+ 3億959万円	+ 7.0%
	公共下水道事業、国民健康保険事業、介護保険特別会計繰出金の増		
公債費	53億7,912万円	▲ 9,001万円	▲ 1.6%
	元利償還金の減		



(8) 各種指標の推計

市債残高の縮減により 健全化判断比率は**着実に改善**！

項目	H20 (決算)	H27 (見込)	H28 (見込)	H20との 比較	H27との 比較	備考
実質公債費比率	15.7	11.8	11.3	▲4.4	▲0.5	健全な状態！ (25%以上は早期健全化が必要)
将来負担比率	113.6	47.0	38.8	▲74.8	▲8.2	着実に改善！ (350以上は早期健全化が必要)
経常収支比率	88.9	89.7	89.3	+0.4	▲0.4	市町村の全国平均 (91.3) よりGood！

○実質公債費比率・・・借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、市のすべての会計と一部事務組合（志太広域事務組合など）が対象となる

○将来負担比率・・・市のすべての会計の借入金や将来払っていく可能性のある負担など、現時点での残高を指標化し、財政への圧迫度を表す

○経常収支比率・・・自治体の財政構造の弾力性を表す比率。扶助費、繰出金等の経常経費に市税等の一般財源がどの程度充当されているかを見るもの。



平成28年度 組織・職員定数に関する方針

行政組織編成方針

「ふじえだ健康都市創生総合戦略」推進へ
“機動性と実効性”の高い組織への転換

★1 機動性と実効性を持って市民のニーズに対応するため、
危機管理センターを設置するとともに部に局を設置
危機管理センター、スポーツ・文化局、健やか推進局、基盤整備局

★2 本市独自の取組を更に展開する体制づくりのため、室を
課に改編
中心市街地活性化推進課、サッカーのまち推進課 等

★3 重要事業に対応する体制づくりのため、課に担当を設置
ふるさと応援担当、少子化対策担当、空き家対策担当 等



主な組織改編内容

部・局	課など	係・担当	
総務部	人事課	<u>女性活躍推進総括</u> 【新設】	女性視点で女性が働きやすい職場環境を整え、全ての職員が活躍できる職場づくりを推進
	<u>危機管理センター</u> 【新設】	危機管理課	地震や原子力・UPZ協定、風水害、感染症等様々な危機事案に一元的に対応
企画財政部	企画経営課	<u>ふるさと応援担当</u> 【新設】	ふるさと納税とともに、企業版ふるさと納税を最大限活用し、創生総合戦略を推進 ◎目標5億円以上
市民文化部	<u>消費生活センター</u> 【新設】		消費生活相談や消費者啓発活動により、消費者保護を強化
	男女共同参画課	<u>少子化対策担当</u> 【新設】	若い世代の出会いの場づくり、結婚や子育て支援のワンストップ化を推進
	協働政策課	<u>藤枝地区交流センター</u> 【改組】	地区住民の暮らしを支える活動、交流、コミュニティ拠点づくりを推進 ◎「藤枝地区行政センター」から改編し、五十海地内に新設。稲葉、広幡の両行政センターも地区交流センターに移行（試行） ◎子育て支援センターも併設
	<u>スポーツ・文化局</u> 【新設】	◎スポーツ振興課、サッカーのまち推進課、文化財課、街道・文化課を所管	市の強みを活かしたまちづくりと人財育成、スポーツによる健康増進等を総合的に展開



主な組織改編内容

部・局	課など	係・担当	
健康福祉部	<u>子ども発達支援センター【新設】</u>		発達に課題を持つ子どもの早期発見と健やかな成長、進学等を切れ目なく支援
	<u>健やか推進局【新設】</u>	◎健康企画課、健康推進課、国保年金課を所管	市民の生涯にわたる健康増進と支援により、健康日本一のまちづくりを総合的に推進
産業振興部	農林課	<u>農業競争力強化担当【新設】</u>	TPPに対応し、茶業を含む農業集積や業者育成、輸出拡大等を一元的に推進
都市建設部	<u>公共交通政策室【新設】</u>		生活利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を重点的に推進
	建築住宅課	<u>空き家対策担当【新設】</u>	防災や防火、環境衛生、定住促進に向けた利活用など、総合的な対策を推進
	<u>基盤整備局【新設】</u>	◎建設管理課、道路課、河川課を所管	将来にわたり安全・安心な道路や橋梁、河川等の基盤整備を着実に推進
		<u>水害対策室【新設】</u> <u>水防担当【新設】</u>	台風や集中豪雨等による浸水被害に機動的かつ迅速に対応
教育部	<u>教育政策課【統合・再編】</u>	◎教育政策課、教育推進室、学校教育課を統合	総合的な教育施策を行政と学校教育が一体となつての展開し、藤枝型の小中一貫教育導入を着実に推進
	<u>学校教育監【新設】</u>		学校教育の統括監として、教師塾による授業力の向上や特別支援教育の推進、不登校やいじめ対策など子供たちが輝く学校づくりを推進

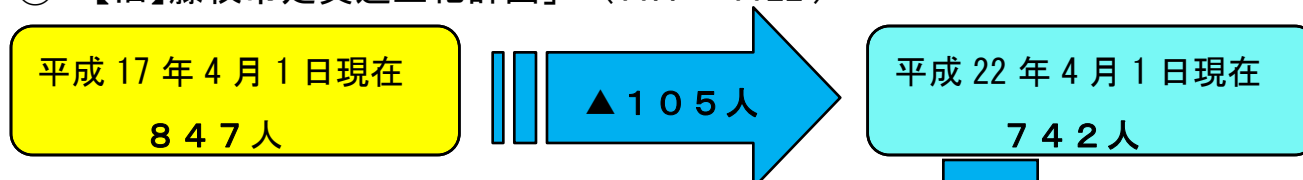


職員定員管理方針

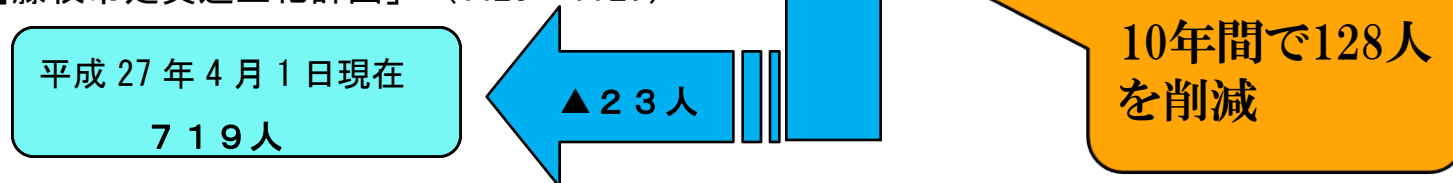
○これまでの定員適正化計画の取組状況

※病院、消防部門、再任用職員を除く。

①「【旧】藤枝市定員適正化計画」(H17～H22)



②「【現】藤枝市定員適正化計画」(H23～H27)



○平成28年4月1日現在の職員数は、718人を予定しています。

○【新】定員適正化計画

[計画期間] 平成28年度～平成32年度の5年間

(数値目標の基準日: 平成28年4月1日から平成32年4月1日)

[計画の方針]

優秀な人財の採用、人財の育成や人財の効率的・効果的な配置や再任用制度の活用などにより、行財政運営の効率化を図るとともに、真に求められる事業には人財をきちんと配置し、職員が持てる力を発揮できる体制を整備します。



2. 重点施策別主要事業・組織



1 コンパクト＋ネットワークで創る健康都市

拠点集約型都市拠点の形成

■ 藤枝の玄関づくりの推進

《組織》コンパクトシティ化に向けてエリアマネジメントを着実に推進

・中心市街地活性化推進室を「中心市街地活性化推進課」に改編

【拡充】駅前一丁目8街区市街地再開発
事業への支援〔国庫補助10/10～1/2〕

14億3,706万円

事業期間：H23～H29

総事業費：91億4,626万円

H28：建築工事、工事監理

【新規】駅前広場の改修 3,500万円

バス乗降場所整備

面積：5,300㎡

バスバース：乗場 3バース、降場 1バース 等



■地域の交流拠点づくりの推進

《組織》地区住民の暮らしを支える活動、交流、コミュニティ拠点づくりの推進

- ・藤枝、稲葉、広幡の各地区行政センターを「地区交流センター」に改組

【拡充】地区交流センターへの移行の推進

地域との連携・協働を推進するため、コミュニティ・防災・行政サービスの拠点機能の強化を図り、公民館を地区交流センターに段階的に移行
(H27～H29)

H28 藤枝公民館《新設》 藤枝公民館(西館)
稲葉公民館 広幡公民館



建設中の藤枝公民館



■中山間地域エリア拠点づくりの推進

《組織》中山間地域の移住・定住誘導を更に推進

- ・中山間地域活性化推進室を「中山間地域活性化推進課」に改編

【新規】中山間地域土地利用基本方針の策定

400万円

優良田園住宅建設促進に関する基本方針の策定

- ・基本計画（整備計画、土地利用計画）の策定

対象地区：瀬戸谷・稲葉・葉梨・朝比奈

【新規】移住者のチカラの活用

20万円

- ・移住者のネットワークづくり
- ・移住アドバイザーの育成と認定
- ・技術を活かしたワークショップ開催
- ・移住者宅を活用した縁側カフェの開催支援

地区：瀬戸谷、朝比奈 回数：年3回



移住者交流会



都市空間創造、都市基盤整備

■快適な都市基盤づくりの推進

《組織》安全・安心な道路や橋梁、河川等の基盤整備を着実に推進

・都市建設部に「基盤整備局」を設置（基盤整備担当理事を改組）

【新規】藤枝バイパス4車線化の推進

90万円

藤枝バイパス整備促進委員会によるバイパス整備
促進啓発活動

要望活動：国土交通省（4回）

中部地方整備局（4回）



麻生太郎大臣への陳情

【新規】スマートインターチェンジ周辺土地利用構想の策定

300万円

東名大井川焼津藤枝スマートインターチェンジ周辺に新産業地ゾーンを見据えた土地利用構想を策定



【推進】主要幹線道路の整備〔国庫補助5.5/10〕

6億8,250万円

- ・三輪立花線(横内) 橋梁下部工
用地買収A=723m²
- ・仮宿高田線 水路工L=70m
用地買収A=3,000m²

ほか焼津森線関連市道など



【拡充】橋梁長寿命化・耐震化の推進〔国庫補助5.5/10〕

1億8,400万円

- ・橋梁長寿命化修繕
橋梁点検64橋 橋梁修繕設計5橋 橋梁修繕3橋
- ・橋梁耐震対策
耐震設計(運動公園大橋)、修繕工(銀杏橋、椿橋、平成田沼橋)

【新規】トンネル長寿命化の推進

〔国庫補助5.5/10〕

377万円

5年に1度のトンネルの法定点検の実施

対象: 藤の里トンネル

明治トンネル(静岡市と連携して実施)



明治トンネル(宇津ノ谷峠)



■快適な公園整備の推進

【新規】水守地区の公園整備〔国庫補助1/2〕

8,700万円

- ・公園整備工事 水守中央公園(1.07ha)
 水守東公園(0.2ha)
- ・実施設計 水守南公園(0.2ha)
 水守西公園(0.2ha)



【拡充】都市公園の安全・安心対策〔国庫補助1/2〕

3,000万円

- 公園トイレのバリアフリー化の実施
- H28 水上公園、内谷公園、山崎公園



■広域整備への負担金

○志太広域事務組合への負担金

22億5,880 万円

◎志太広域事務組合

一般会計 59億1,500万円

◆廃棄物処理施設計画費 4,369万円

◆新斎場建設費 9億6,921万円

◆消防施設費 2億8,164万円

はしご付消防自動車1台、高規格救急車1台
消防ポンプ車1台、消防指揮車1台購入



都市拠点をつなげるネットワークづくり

■花と緑を活かしたネットワーク

【新規】ふじえだ花回廊イベントの実施

500万円

世界一のフラワーアレンジメントワークショップ《ギネスに挑戦》

2,000人以上の市民が1会場で同時にフラワーアレンジメントワークショップを実施

時期：平成29年3月（予定）

会場：静岡県武道館

【新規】ふじえだ花回廊の推進

280万円

- ・花絵手紙イベントの実施 《市民政策提案》

絵手紙コンテストを実施し、選出作品を活用したメッセージカードを作成

- ・魅力発信動画作成

花に関する市民の活動や、花の名所等のPR映像を作成する



■利便性の高い交通ネットワーク

《組織》生活利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を推進

・都市政策課内に「公共交通政策室」を設置

【新規】ノンステップバスの購入〔国庫補助定額〕

2,200万円

国庫補助制度を活用した**県内初**の公有民営方式による
車輛購入

対象：志太温泉線ノンステップバス1台



ノンステップバス

【新規】地域公共交通網形成計画の策定

ゼロ予算

まちづくりと一体となった新たな地域公共交通網形成計画の策定

策定期間：H28～H29



安全安心な地域づくり

《組織》様々な危機事案に備え対応する危機管理体制の確立

- ・総務部内に「危機管理センター」を設置

■原子力災害対策の強化

【拡充】避難対策の推進〔県補助1/2～1/3〕

320万円

- ・避難受入先市町との調整
- ・広域避難ガイドブックを作成し全戸配布
- ・安定ヨウ素剤の更新
平成25年度整備の40歳未満用ヨウ素剤の更新



■地震災害対策の強化

【拡充】指定避難所のマンホールトイレ整備〔県補助1/3〕 1,450万円

公共下水道供用区域内の指定避難所である小中学校にマンホールトイレシステムを整備（H27～H29）

H28：藤岡小学校（6基）、青島東小学校（7基）、青島北中学校（6基）

【拡充】家具転倒防止対策事業の推進〔県補助1/2〕 600万円

災害時要援護者家具転倒防止事業の対象者の拡大

- ・65歳以上の者のみの世帯 ⇒ 65歳以上の者がいる世帯
- ・身体障害者手帳1、2級の者がいる世帯 ⇒ 身体障害者手帳保持者がいる世帯
- ・中学生以下の子どもがいる世帯（追加）

【新規】感震ブレーカーの設置推進〔県補助1/2〕 150万円

震災時の住宅の出火及び延焼被害の減少を図るため、**県内初**の感震ブレーカーの設置へ助成

設置費用の2/3を助成 上限5万円



■安全安心な基盤整備の充実

【増額】道路新設改良等

4億5,000万円

地元要望による生活道路整備・道路整備工事や
道水路の維持補修
※市の単独事業による道路等整備を0.8億円増！



【増額】河川・水路改良

2億円

河川・水路要望箇所工事 17箇所
測量調査業務委託

【新規】浸水被害への対策

2,300万円

浸水警戒地区において設置されている排水ポンプの自動化
対象：鬼島、時ヶ谷、藤岡(3地区4箇所で8基)

【継続】治山事業

3,635万円

治山事業の実施による森林の整備・保全・災害防止



■消防団体制の整備

【新規】消防団施設の整備

1億7,000万円

岡部地区全ての消防団詰所に待機場所及び
打合せ場所を整備

対象:6箇所(内谷、村良、岡部、
羽佐間、宮島、玉取)



【拡充】消防団活動の活性化

400万円

消防団の更なる活性化と充実、強化を図るため消防団への交付金を拡大

分団割:110,000円⇒130,000円

班割:4,500円⇒6,000円

■空き家対策の推進

【新規】空き家等対策計画の策定

ゼロ予算

- ・所有者への意向調査 対象:500件
- ・データベースの更新



交通安全日本一への取組

■市民啓発の推進

【拡充】交通安全日本一の推進

800万円

- ・交通安全キャッチフレーズの募集・決定
- ・プロのスタントマンによる「スケアードストレイト 自転車安全教室」を市立中学校全校で実施
- ・安心安全フェアの実施(て～しゃばストリート)など

■交通安全施設の整備

【拡充】ゾーン30交通安全施設の整備

〔国庫補助5.5/10〕

700万円

藤枝警察署と連携し、速度制限(30Km/h)の
区域設定や路面表示等の整備

対象地区：平島地区(市内5箇所目)



ゾーン30整備箇所



【拡充】緊急合同点検結果により通学路を整備〔国庫補助5.5/10〕

3,000万円

通学路の緊急合同点検実施に伴う要対策箇所（他事業と合わせ20箇所程度）の安全対策を実施

歩道の新設、道路路肩整備、グリーンベルト設置、区画線設置、交差点カラー舗装

【新規】自転車通行空間整備の推進

300万円

市内主要道路に自転車通行空間を設け、自転車と歩行者の通行分離を図るための計画整備

H28：市内全域調査実施

H29～工事



環境日本一への取組

■ ごみ減量への取組

【拡充】家庭系生ごみの資源化の推進

4,500万円

家庭系生ごみ分別回収の対象地区拡大 10,000世帯⇒13,000世帯
対象：原地区、高柳地区(3,000世帯)

【拡充】ごみ分別アプリの機能充実

30万円

ごみ分別アプリ(WEBアプリ)の外国語版や
地図アプリ利用など利用者の利便性を検討
し使いやすさを向上
※静岡産業大学と連携



ごみ分別アプリ



■省CO2への取組

【新規】人工芝グラウンド夜間LED照明灯施設の整備〔国庫財源1/2〕

6,000万円

総合運動公園多目的広場の人工芝グラウンドに夜間照明施設を整備
・コンクリート柱6箇所、LED照明48灯

【新規】公園照明灯LED化の推進〔国庫財源1/2〕

2,500万円

公園照明施設のLED化（H28～H31）
H28:44公園、LED照明灯設置 100基

【増額】防犯灯LED化への助成

3,000万円

防犯灯のLED照明灯への切替に対する助成 など
切替 800灯 ⇒ 1,800灯 （切替への補助率2/3 上限15,000円）

【新規】岡部支所の空調設備更新〔国庫財源1/2〕

9,500万円

空調設備の省エネ機器への更新



2 産業としごとを創る健康都市

産業振興と雇用創出

■産業の振興

【新規】エコミックガーデニングの推進

1,026万円

- ・エフドアに産業コーディネーターを配置し、企業と企業とのマッチングを円滑化
- ・専門プロデューサーの指導により、健康に特化した新たな商品・サービスの開発

【新規】UIJターン就職の促進

100万円

島田市と協議会を立ち上げ事業実施
志太2市UIJターン企業説明会(1回 首都圏)
企業向けセミナー(1回)
保護者向けセミナー(2回 藤枝・島田)
首都圏学生と企業(若手社員)との交流会
(1回 首都圏)



■攻めの農業の推進

【拡充】農地の集積・集約化の推進〔交付金10/10〕

150万円

経営の効率化、規模拡大、新規参入による地域農業の強化に向けた集約化の実施
地区：仮宿（5ha）、蔵田（2.5ha）

【新規】産地パワーアップ事業への助成

〔県補助10/10〕

1億2,860万円

高収益な作物への転換を図る取組に必要な施設
整備、改植等を対象に助成



アメーラトマト

【拡充】鳥獣害の防止の推進〔県補助1/2〕

200万円

耕作放棄地（茶）、草木の刈り払いによる鳥獣の棲みにくい環境づくりに対する助成
対象：朝比奈地区 3ha



【新規】強い農業づくり事業費〔県補助9/10〕

1億5,040万円

海外需要が高まっている抹茶の輸出拡大を目指すための助成

市負担分：補助対象事業費3億円以内 補助率5%以内 上限1,500万円

【新規】攻めの農業の推進

250万円

- ・農産物輸出志向者の掘り起こし調査 対象：4,300件
- ・農地所有者、営農者への農地利用意向調査
- ・輸出に関してのセミナー実施(3回)

【新規】お茶のまち藤枝の発信

150万円

第59回献上茶謹製事業を藤枝市で開催し、
お茶のまち藤枝と茶手揉技術をPR

H28：茶園の指定

H29：式典開催



■地産地消の推進

【新規】地場産品の消費拡大の推進

485万円

○オリジナル学校給食メニューの開発

- ・生産者団体等との連携による給食メニューの開発
- ・栄養教諭等による学校訪問での食育指導強化
- ・地元食材を使用した親子料理教室の開催

○植え付けから調理までの農業体験プログラム

- ・広報、ホームページを活用した朝市・生産者情報の発信
- ・小学生を対象とした野菜の植え付け・収穫・調理までの体験プログラムの実施

時期：5月～11月

対象：小学生50人

場所：葉梨地区

○中山間地域のオリジナルピザづくり

- ・地域おこし協力隊と地域活性化団体等による中山間地域4地区（瀬戸谷、葉梨、稲葉、朝比奈）におけるピザ窯製作と地元食材を使用したオリジナルピザづくりの実施



起業・創業支援

■起業チャレンジへの支援

【新規】女性の創業の支援

340万円

- ・創業に必要な基本的な知識や実務的なポイントを学習するセミナー開催
(基本編4回×2、実践編4回×2)
- ・実務に経営学、経済学を結び付けて学ぶカレッジの開催(14回) 6月～12月



私サイズの小さな起業講座

【拡充】若者からシニア世代によるビジネス創出支援

110万円

- ・シニア世代起業セミナー(2回)
シニアの社会保障制度、賃金調達、税務基礎等を学び、ビジネスプランの作成
- ・高校生ビジネスセミナー(5回) 5月～9月
若手起業家、大学教授の講義、グループワークを通して高校生目線のビジネスプランを作成し、高校生ビジネスグランプリに応募
※市内高校全校×7名程度×2チーム



新公共経営に基づく市役所の質の向上

■新公共経営に基づく市役所の質の向上

【拡充】新公共経営の推進

434万円

- ・ふじえだガールズミーティング《市民政策提案》
市内の女子高生、女子大生からの意見を聴取し、
今後の施策に反映
- ・女性ミーティング
女性の視点から考える「働きやすい職場」づくりの
ための意見交換会“フジェンヌ”による業務改善に
反映
- ・施策エントリー制度
実現したい施策がある職員がグループを作り、
担当部局を超えた施策が提案できる制度を創設



意見交換会フジェンヌの様子

【新規】例規マイスターの設置

ゼロ予算

自治体法務検定合格者のうち、特に優秀な者に例規マイスターの資格を与え、各部局等で例規等の検討を行う場合に助言などができる制度を新設



【拡充】「日本一の職員づくり」の推進(条例整備)

1,000万円

スペシャル・ジェネラリストの育成体制の強化 職員の専門知識の習得を支援するための休業制度を新たに導入	
自己啓発等休業	大学等の教育施設の課程の履修又は国際貢献活動(医療)への参加のための休業制度
修学部分休業	大学等の教育施設での修学に必要な時間を勤務しない時間として承認できる制度

○スペシャル・ジェネラリストを目指す職員を育成

- ・職員が職員を育てる「藤枝型職員養成体制」を整備
職員修練道場、職員寺子屋、OJT研修の開催
- ・専門研修及びスキルアップ研修への派遣
- ・国内外先進都市への視察支援
- ・職員の資格取得支援

○静岡県東京事務所、岩手県山田町に職員派遣実施

- ・本市の情報を全国発信、国などの情報収集、企業誘致の展開、被災地支援



多様な人材の活用

■地域おこし協力隊の活用

【新規】女子サッカーの推進

380万円

- ・女子サッカースクール運営
- ・女子サッカー選手の雇用先確保のための企業訪問

5月～募集開始 7月～採用・事業開始

【拡充】中山間地域活性化の推進

400万円

- ・藤枝初の焼き物ブランド「瀬戸谷焼」の開発
- ・地域の魅力を食で表現する「ピザ窯製作」と「地元食材を使用したオリジナルピザ」づくり
- ・陶芸文化の振興のための「陶の灯りアートさんぽ」開催支援

【拡充】観光振興の推進

400万円

- ・蓮華寺池公園と近隣商店街への回遊性を持たせた音楽祭の企画・運営
- ・着地型観光プログラム(おんぱく)の通年プログラムの制作
- ・各地域観光イベント等への協力



■市民活動の推進

【拡充】ボランティア登録の実施

400万円

関係機関と連携して分野別にボランティア登録を実施することにより、市民に活動の場を提供し、ボランティア活動を活性化

- ・おもてなし分野（イベントボランティア）
各種大会・東京オリンピック事前合宿等に向けたおもてなし体制の整備
- ・守る・つながる分野（災害ボランティア）
有事の際の災害ボランティア育成
- ・共に支え合い分野（福祉ボランティア）
少子高齢化社会に向けた福祉ボランティアの育成



災害ボランティア本部開設・運営訓練の様子



3 ひとの流れを創る健康都市

シティ・プロモーションの推進

■定住人口拡大の推進

【拡充】定住人口拡大の推進

675万円

- ・首都圏に転出した女性をUターンさせるためのふるさと回帰促進イベントの実施
対象：藤枝市立中学出身の28歳（1,600人）
時期：平成29年1月（予定）
- ・シティプロモーション認定事業費補助金
限度額の拡大 25万円／件 ⇒ 100万円／件
※補助率1／2は変更なし

【新規】子育てファミリーの移住の促進

500万円

- ・市外の中学生以下の子を持つ者に対する移転費用等の助成 補助率1/2 上限50万円
- ・市内の空き家の所有者に対する建物改修工事費用の助成 補助率1/2 上限50万円



広域観光・交流・連携

■更なるおもてなしの強化

【拡充】おもてなし強化の支援

650万円

- ・海外観光関連ホームページ情報掲載
台湾等の旅行系サイトに藤枝の観光情報を掲載
- ・海外観光客受入促進のため観光施設、小売業者を支援
海外での誘客目的イベント参加
多言語パンフレット作成
ホームページの多言語化 など
補助率1／2～1／3 上限5～100万円
- ・「おもてなし強化チーム」、「おもてなしコンシェルジュ」による来訪者の受入れ態勢強化

【拡充】街道・宿場文化の発信

240万円

- ・路線バスを活用した岡部宿回遊ルート発信
- ・東海道案内表示の設置(水守地区 10箇所)《市民政策提案》



【拡充】東海道街道文化の創造

250万円

島田市と連携・協働し、茶文化や固有の歴史文化資源を活かした事業を実施

- ・岡部宿内野本陣を拡張現実(AR)により表示
- ・岡部宿大旅籠柏屋・内野本陣内に竹オブジェを設置

時期：平成28年11月～12月

【新規】ふじえだ版DMOの構築

50万円

地域資源や人材等の情報拠点の機能づくり

- ・観光まちづくり推進委員会設置

構成：学識経験者、観光協会、経済団体、金融機関、宿泊施設等

- ・観光まちづくりシンポジウムの開催

時期：平成29年2月

会場：生涯学習センター

- ・ふじえだ茶・観光デザインプロジェクト

関係者による推進協議会の設置

事業計画書の作成



藤枝の宝を磨き、伸ばす取組

■ 藤枝のお茶・銘産品を発信

【拡充】藤枝ブランド戦略の推進

100万円

- ・3回目となる藤枝セレクションの選定 10月
- ・イベントへの出展等によるプロモーションの実施



藤枝セレクション

【拡充】藤枝型まちづくり観光の推進

藤枝おんぱく開催

300万円

お茶をテーマとした体験型観光プログラムの拡充
時期：4月～6月



藤枝温故知新博覧会2015

【再掲】お茶のまち藤枝の発信



■蓮華寺池公園整備の推進

【拡充】蓮華寺池公園快適化の推進

〔国庫補助1/2〕

2億円

西高跡地を一体的に活用した蓮華寺池公園の整備

- ・アスファルト舗装 1,600㎡
- ・照明灯 14基
- ・ベンチ 17基
- ・水飲み 2基
- ・パーゴラ 2基
- ・四阿 4棟



市民の憩いの場 蓮華寺池公園

【新規】園路、散策路の快適化

500万円

藤の花育成環境改善工事や
園路舗装工事の実施



■次代のなでしこの育成

《組織》サッカーを活かしたまちづくりの推進に向けた体制の構築・強化
・サッカーのまちドリームプラン推進室を「サッカーのまち推進課」に改編

【新規】サッカーのまち藤枝 なでしこの育成

100万円

地域おこし協力隊と連携した人財育成
幅広い年齢対象の女子サッカースクールの
開催を支援 7月～3月(月4回)
女子サッカー普及に関する講演会の実施
時期:9月(予定)
・雇用先確保の支援



【再掲】地域おこし協力隊《女子サッカーの推進》

【再掲】人工芝グラウンド夜間LED照明灯施設の整備



■協働・共奏の促進

《組織》NPOや市民団体の活動拡大を支援するとともに、市民ボランティアの多面的な活躍の場づくりの推進

・市民活動団体支援室を「市民活動団体支援課」に改編

【新規】NPO法人認証事務の開始〔県補助10/10〕

16万円

県からの移譲事務により、特定非営利活動法人の設立認証等の事務を開始
平成28年4月開始

【再掲】ボランティア登録の実施



■ 藤枝大祭・朝比奈大龍勢を発信

○6年に一度の同時開催をPR

3年に一度の「藤枝大祭」と、2年に一度の「朝比奈大龍勢」の同時開催を広く発信

◆ 藤枝大祭

大迫力の屋台の引き回しや長唄による優雅な地踊りなどが披露される江戸時代から続く伝統ある祭

時期:9月～10月



◆ 朝比奈大龍勢

高さ約20メートルの櫓やぐらから打ち上げられる県指定無形民俗文化財の龍勢

時期:10月



高齢者支援・福祉の充実

■居住系サービスの充実

【新規】障害福祉サービス施設整備への助成

860万円

施設整備を助成(多機能型施設、単体施設)

対象: ①グループホーム(定員7名)、短期入所(定員2名)、放課後等デイサービス
(定員5名) ほかの多機能型施設 1施設

②グループホーム(定員6名) 1施設

対象地区: ①青島地区 ②岡部地区

【新規】介護サービス提供体制整備への助成〔県補助10/10〕

1,677万円

施設開設に係る準備経費を助成(併設型施設)

対象: 認知症高齢者グループホーム 1施設
小規模多機能型居宅介護事業所 1施設 } 併設

対象地区: 高洲地区

※公募により選定



■地域包括ケアの推進 《介護特別会計》

《組織》在宅生活を維持するための生活支援サービスの充実を図る

- ・地域包括ケア推進室を「地域包括ケア推進課」に改編

【拡充】認知症初期集中支援の推進

安心すこやかセンター(全7箇所)に初期集中支援チーム設置

- ・早期診断、早期対応に向けた支援



【拡充】在宅医療・介護連携の推進

地域医療連携センターに在宅医療コーディネーターを配置

- ・在宅医療・介護連携に関する相談、情報提供、研修
- ・訪問歯科診療、訪問薬剤指導の調整



4 出会いとこどもの未来を創る健康都市

少子化対策・子育て支援の充実

■少子化対策の充実

【新規】出会いと結婚のサポート〔県補助10/10〕

267万円

民間と連携し出会いの場を創出

- ・ふじえだであい創造事業 プロポーズにより事業者決定
- ・婚楽セミナー開催 対象：独身男女100人 時期：9月

【新規】妊娠・出産の包括支援〔国県補助2/3〕

220万円

妊娠から子育て期までの切れ目ない支援を実施

- ・妊産婦の相談支援（支援計画を作成し継続支援）
- ・関係機関との支援会議の実施

【拡充】少子化解消に向けた支援〔県補助10/10〕

400万円

少子化解消に向けて、国の交付金を活用した事業を実施

- ・男子力・女子力向上講座 各3講座
- ・産後のメンタルヘルスケア講座 対象：パパママ講座受講生 3講座×3クール



■子育て施設整備の充実

【拡充】放課後児童クラブの整備

〔国県補助2/3〕

9,610万円

新たな児童クラブの建設

- ・青島小学校

2クラブ(定員40人×2クラブ)

- ・青島東小学校

1クラブ(定員50人)

※クラブ数:19クラブ→22クラブ

定員:1,149人→1,279人(+130人)



【新規】キッズパークのオープン

〔国県補助2/3〕

1,900万円

れんげじスマイルホール内の子どもスペースに
常設遊具を配置

民間企業による子どもを中心としたプログラムの実施

平成28年4月オープン



れんげじスマイルホール



【新規】私立保育所創設への支援〔国庫補助2/3〕

1億813万円

- ・私立保育園の創設に対する助成 定員60人（青葉町）
- ・修繕事業を実施する保育園に対する助成

【新規】保育施設等の環境整備への支援

2,000万円

私立保育園創設事業に伴う貸付金



■子育て環境整備の充実

《組織》発達に課題をもつ児童の早期発見と健やかな成長、中学・高校への移行等を切れ目なく一元的にサポート

- ・健康福祉部に「子ども発達支援センター」を設置

《組織》子育てや児童虐待、DVなど、子どもの養育や家族関係等に係る相談と、各種支援給付を一元的に対応

- ・子ども家庭相談センターを「子ども家庭課」に改編

【新規】子ども発達支援センターの設置

230万円

発達に課題をもつ児童の就労までの支援の一本化を図る

場所：福祉センターきすみれ内

【拡充】発達障害児への療育支援の充実〔国県補助3/4〕

1,820万円

言語聴覚士、作業療法士等の専門的人材による相談

- ・巡回支援専門員による巡回相談



【拡充】こども医療費助成の充実

3,000万円

中学生への医療費助成の方法を小学生までと同じ、受給者証交付の方法に変更

【新規】多子世帯の子育ての応援

430万円

多子世帯(中学生以下の子どもが3人以上の世帯)に応援カードを発行し、対象施設の入館料や利用料を減免

対象世帯数: 約1,200世帯(H27.8月末現在)

対象施設等: 公共施設17施設

【新規】ひとり親家庭への就学支援〔県補助1/2〕

200万円

ひとり親家庭で小学校に入学する児童のランドセル及び学校指定用品の購入費用を助成

対象: 児童扶養手当受給者

支給額: 対象児童一人につき3万円以内(一回限り)



【新規】子ども体づくりの推進

39万円

子育て世代の運動・健康イベントを開催

子ども体づくりフェスタ

対象：幼児・小学生と親

会場：れんげじスマイルホール（予定）

（7月、11月 予定）



【再掲】子育てファミリーの移住の促進



教育日本一への取組

《組織》行政と学校教育が一体となった機動的な組織体制への再編

- ・教育政策課、教育推進室、学校教育課を統合し、新たな「教育政策課」に再編

《組織》小中一貫教育、教師塾、特別支援教育、英語教育の推進

- ・教育政策課に「学校教育監」を配置

■科学教育の推進に向けた取組

【拡充】ふじえだロボットアカデミーの開催

250万円

- ・ロボコン対策集中講座

時期：7月～11月 8回

対象：中学生30人

- ・ロボットづくり講座

時期：1～3月 3回

対象：小学5年生～中学2年生 30人／回

※静岡大学と連携



【拡充】サイエンスキッズの育成

100万円

JAXA(宇宙航空研究開発機構)協力による宇宙関連イベント(コスモキッズラボ)や科学教室を開催

【新】コスミックカレッジ 4回(体験型プログラム)

対象: 小学3年生～4年生



【新規】地域の文化財を活用した科学教育の推進

50万円

県無形民俗文化財である「朝比奈大龍勢」を科学的見地から解析し、その解析結果等を子どもたちに教えることで、科学好きな子どもを育てる

- ・龍勢の機体解析・モデルによるシミュレーション・技術解析
- ・子どもたちへの出前授業を実施
- ※静岡理工科大学と連携



朝比奈大龍勢



■小中一貫教育推進に向けた取組

【新規】小中一貫教育の導入推進

370万円

特色ある小中一貫教育の導入を市内全中学校区で推進

H28 市の小中一貫教育推進計画と瀬戸谷小中学校をモデル地区として導入計画策定を先行実施

その他の地区はH29策定予定

教職員や保護者、地域住民等を対象とした講演会の開催

【拡充】小中学校連携ドリームプラン事業

535万円

中学校区単位で特色ある教育活動を実践するとともに、小中一貫教育に向けた研究を行う

・小中合同での運動会やワークショップの開催等

【新】小中一貫教育に向けた研究費 各校5万円×27校



■特別支援教育の充実に向けた取組

【拡充】特別支援学級支援員の増員

2,423万円

特別支援学級設置校への配置 20人⇒22人

設置校 小学校10校 中学校 7校

学級数 41学級⇒47学級

藤枝小・中央小・葉梨小・高洲南小・青北小・大洲中で各1学級増

【拡充】特別支援教育巡回相談の充実

381万円

市内小中学校に巡回相談員を派遣し、特別支援教育を推進

・巡回回数増 115回⇒125回

・巡回相談員4人



■教育環境整備に向けた取組

【拡充】小学校トイレ洋式化の推進〔国庫補助1/3〕

2,930万円

小学校1年生用トイレの洋式化の実施(全体:15校79基)

H28 小学校4校16基

【拡充】ふじえだ教師塾の充実

450万円

本市が目指す教育・授業への理解を深めるとともに、教員等の授業力を高め、優秀な人材を育てる

- ・大学生・講師等に対する教員養成講座、教員(中堅・若手)に対する指導講座等
- ・講師、教員採用2、3年目の若手教員及び30代中堅教員の授業指導充実
教育指導員を増員(1名⇒2名)



**【拡充】英語に親しむ
Fujieda English Campの開催
100万円**

ALTとの体験学習による英語でのコミュニケーション活動の実施

年3回開催

- ・動物園と歴史建造物の見学
- ・市内活動施設体験
- ・世界の料理づくり体験

対象：小学5年生～中学3年生(50人/回)



ALTによる夏休みEnglish Campの様子



健康・予防日本一への取組

■健康・予防日本一に向けた取組

《組織》幅広い世代の生涯にわたる健康増進により、日本一の健康長寿のまちづくりを総合的に推進

・健康福祉部内に「健やか推進局」を設置

【拡充】歩いて健康づくりの推進

550万円

歩いて健康日本全国バーチャルの旅による
ウォーキングアプリ(携帯アプリ)の開発



バーチャル東海道



【新規】健康・スポーツイベントの実施

50万円

軽スポーツと健康講座を組み合わせたイベントの実施

軽スポーツ(ウォーキング、ノルディック
ウォーキング)と医科学や食などの健康
講座を組み合わせて実施

総合運動公園～生涯学習センター
～総合運動公園(予定)

日程:10月頃(1回)

参加見込:600人



【再掲】子ども体づくりの推進



安定的な医療の提供

《組織》志太榛原医療圏域の拠点病院として、診療体制の一層の強化

- ・診療体制の強化のため、病院長を専任で配置
- ・医師、看護師等の招聘・確保体制の一層の強化を図るため、職員定数を改定（800人⇒850人）
- ・家庭医の育成に向けて、家庭医対策準備室を設置

【拡充】救急センター機能の充実

救急センターの3次救急施設への格上げと救命救急機能拡充のための電源装置等の機器の整備

【拡充】地域医療連携の強化

地域包括ケアシステムの構築と在宅医療の推進・訪問診療、看護を推進するための協力強化



スポーツ・文化の推進

《組織》スポーツ、文化を活かしたまちづくりと人財づくり、スポーツによる
市民の健康増進等を総合的に展開

- ・市民文化部内にスポーツ・文化局を設置

■ アスリート育成の推進

【新規】プロチーム等の試合誘致推進

700万円

将来を担う子どもにプロの試合を間近で見る機会を増やすことで夢や希望を与え、トップアスリートの育成につなげる

- ・プロチームのスポーツ施設の利用料減免(1/2)
- 対象施設:5施設



【拡充】藤枝型トップアスリート育成アシストシステムの推進

190万円

東京オリンピック・パラリンピック及び全国で活躍できるトップアスリートを育成

対象競技: サッカー ⇒ 柔道・ライフル射撃を追加

スポーツアカデミーの開催

- ・座学講習会 対象: 選手(中学生)を中心に保護者、指導者
内容: スポーツ医科学、食育等
- ・実技講習会 対象: 選手(中学生)を中心に指導者、審判
内容: 技術・指導法等のレベルアップ

【新規】ジュニアアスリート育成へのサポート

50万円

次世代を担うアスリート育成を目指したサポート体制の構築

- ・体育協会、スポーツ少年団と連携し、講座を開催(5回予定)
- ・座学講習会 対象: スポ少所属の選手(小学生)、父母、指導者 など
内容: 選手をサポートするための様々な知識の獲得



■東京オリンピック・パラリンピックに向けた誘致推進

【拡充】東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致の推進 500万円

東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致に向けた本市への視察や来藤の働きかけ

- ・ホストタウン構想で相手国に決定した「イタリア」のキーパーソンの招聘
- ・中央競技団体等への説明や情報収集

【新規】スポーツの国際交流 250万円

イタリア柔道の若手選手を本市で受け入れ、合同合宿等を行うことによる本市の選手育成や文化交流を実施し、国際的な人財を育成する

- ・2週間程度の滞在
- ・高校生、社会人との合同稽古や学生との文化交流
- ・受入人数 20人程度(コーチ等含む)



イタリア柔道連盟との交流合意の様子



■文化の浸透

【拡充】市民文化祭の活性化

400万円

さらに魅力ある文化祭を目指し、若年層の参加を促進

- ・ダンス&ボーカルなど新たなジャンルの創設
- ・静岡産業大学やフリーエース美容学校との連携

時期:10月～11月



ダンス・ボーカル部門でのパフォーマンスの様子

【再掲】東海道街道文化の創造

【再掲】街道・宿場文化の発信



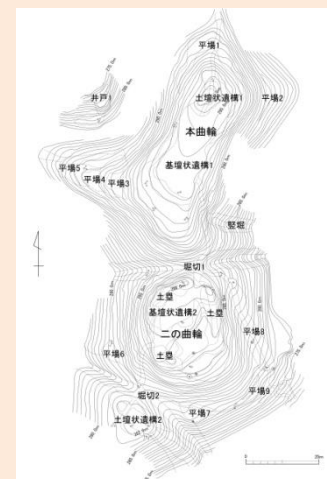
■博物館・文学館事業の推進

【新規】博物館開館30周年に向けたジオラマ制作

162万円

花倉城のジオラマを制作し、本市における今川氏の歴史を発信

・H29年度 博物館30周年記念事業で展示



花倉城測量図

【新規】文学館開館10周年記念事業「加藤まさを展」開催

338万円

本市出身の画家加藤まさをの生誕120周年にあたり展示会を開催
同時代に活躍した抒情画家の作品も紹介

時期：平成29年2月～3月



藤枝型新公共経営の新たなアクション

市民や若手職員の政策提案を積極的に予算化・実現

◎市民政策提案事業

事業名	内容	予算額
ふじえだ☆ガールズミーティング	一般募集した女子高校生及び女子大学生による、まちづくり活動への参加、施策や制作物への意見聴取	7万円
花絵手紙コンテスト	花絵手紙コンテストを開催し、その優秀作品を活用したメッセージカードを作成して花のイベントにて配布	32万円
歩きやすい旧東海道	水守地区の旧東海道がわかりにくいいため、路面に案内表示を実施	20万円
リフティング大会開催	全国PK選手権大会にリフティング大会を加えることで若者による賑わいを創出し、藤枝をPR	84万円



◎新公共経営プロジェクトチーム提案事業

テーマ:「定住拡大」の視点からの商店街の活性化

事業名	内容	予算額
空き店舗短期活用支援事業	新たなビジネスチャンスの創出と、市内の空き店舗活用を図るため、一時的に空き店舗を活用する個人・団体に、使用料の一部を支援	100万円
空き店舗開業支援事業	空き店舗の長期利用者の増を図るため、新規出店者に対して、改装費の一部を支援	200万円
商店街子育てサロン事業	商店街の空き店舗を活用し、育児相談や子育てサロンを実施	20万円
商店街空き店舗調査事業	市内商店街の空き店舗を調査・把握し、データベース化により出店促進のための効果的な情報発信	ゼロ予算
商店街誘客促進事業	蓮華寺池公園から商店街への回遊性を向上させるため、飲食店マップを作成し周辺施設に設置	30万円
高校生チャレンジ商店街事業	藤枝北高校との連携により、商店街での高校生の活動を開始、将来的な出店につなげる	ゼロ予算



平成27年度国の一般会計補正予算への対応

国の補正予算 総額3.3兆円
一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策等

★地方創生加速化交付金
★TPP関連
★マイナンバー関連
⋮

◎積極的な事業実施
で対応

平成28年度一般会計の1号補正



市民の皆様「幸せ」のために
職員共々全力で頑張ります



藤枝市長
北村正平

